

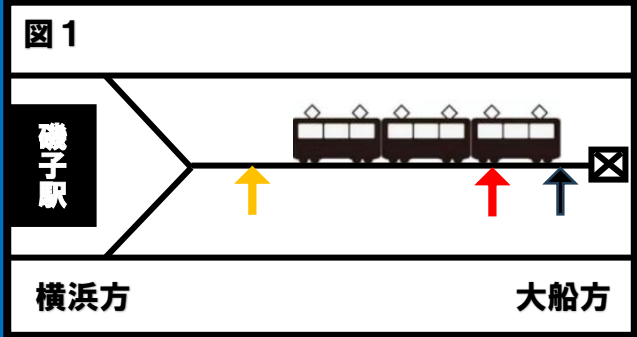
**作業の変更影響か？ ～京浜東北・根岸線～**

**磯子駅にて一旦停止を所定停止位置と勘違い！**

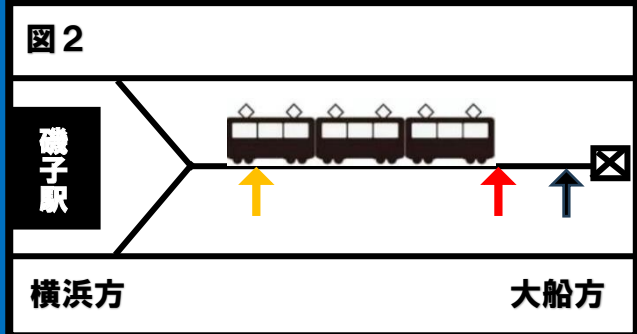
**「事故・事象に結びつくものではない」という言葉に根拠なし！**



磯子駅、引上げ線の所定停止位置



今回誤って停車させてしまった停止位置



磯子駅の折返しは駅到着後、回送電車で引上げ線に入線させ横浜方面に折返しを行います。本来「図1」のように↑の位置に停車させ最後尾車両が↑を超えることによって新たなルートを構成することができます。しかし、今回は「図2」のように↑の位置で折返しをしようとしたため最後尾車両が↑を超えず新しいルートが構成できませんでした。↑の位置はその先にある車止めに誤って衝突しないように↑の位置で一旦停止させてから↑まで速度を落として運転をするために設けてあります。

京浜東北・根岸線は磯子行の折返し電車及び入区電車の車内貫通作業をこれまで駅係員が全ておこなっていたが3月16日から一部作業を乗務員が担うようになりました。作業の変更に伴い乗務員からは車内貫通作業に対して「教育の不備」と「乗務労働（運転操縦や機器整備）の集中を妨げるのではないか」と危惧していましたが**会社は「不安があることは承知しているが事故・事象に結びつくものではない」と回答し**、安全面を配慮した私たちの意見に一切耳を傾けず、訓練での説明だけで施策を強引に進めてきました。その結果、変更した作業に意識がいき、積み重ねてきたルーティンが崩れ、今回の事故が発生しました。ヒューマンエラーは人間ですから誰にでも起きるものです。しかし、根拠のない考えを押し付け、施策を優先した会社に安全を語る資格はありません！私たち輸送サービス労組はそのような会社を正すためこれからも現場第一の職場を組合員と共につくりだしていきます！